

# 令和4年 4月～6月期 作州津山商工会管内景況（DI）調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 120事業所

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	合計
24	31	29	36	120

## 調査結果の概要

### <全体 ～売上DIは改善するものの仕入単価DIが悪化、採算DIに悪影響～>

第一四半期（前回調査）に比べ、仕入単価DIが大きく悪化、資金繰りDIも低水準が続いています。その結果、第一四半期に比べると採算DIに改善は見られません。今後の見通し（令和4年7～9月）は特に資金繰りで悪化が懸念されています。

### <製造業 ～見通しでは採算で悪化予想、仕入単価上昇が大きな課題～>

売上DIは25.0（前回▲4.2）、採算DIは▲33.3（前回▲33.3）、資金繰りDIは▲25.0（前回▲12.5）となりました。今後の見通し（令和4年7～9月）は売上DIは好転減少、採算DIは悪化維持、資金繰りDIは悪化維持の見込みにあります。

### <建設業 ～見通しでは総じて悪化、仕入単価上昇が大きな課題～>

売上DIは6.5（前回▲3.2）、採算DIは▲16.1（前回▲16.1）、資金繰りDIは▲6.5（前回▲12.9）となりました。今後の見通し（令和4年7～9月）は売上DIは悪化、採算DIは悪化維持、資金繰りDIは悪化の見込みにあります。

### <卸・小売業 ～採算・資金繰りで引き続き厳しい水準、見込みも同様の予想～>

売上DIは0.0（前回▲17.2）、採算DIは▲34.5（前回▲34.5）、資金繰りDIは▲34.5（前回▲24.1）となりました。今後の見通し（令和4年7～9月）は売上DIは悪化、採算DIは悪化緩和、資金繰りDIは悪化維持の見込みにあります。

### <サービス業 ～資金繰りが大きく悪化、今後の見通しは若干改善の予想～>

売上DIは19.4（前回▲19.4）、採算DIは▲13.9（前回▲36.1）、資金繰りDIは▲8.3（前回▲22.2）となりました。今後の見通し（令和4年7～9月）は売上DIは悪化、採算DIは悪化緩和、資金繰りDIは悪化緩和の見込みにあります。

### <業種別業況>

業種を問わず多くの調査項目でマイナス水準にあります。

### <時系列比較>











売上DIは調査開始（令和2年4～6月期）以降、初めてのプラス水準となりました。採算DIは高いマイナス水準が続いています。資金繰りDIはマイナス水準が拡大しています。

### <業況変化の要因>











販売や受注が増加したことで業績が向上している事業者があります。悪化の要因として仕入単価の上昇が大きくなっています。

～業種別比較表～











○製造業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和3年4月～6月	天気図					
	D I	25.0	-62.5	-33.3	0	-25.0
来季（見通し）比較 令和4年7月～9月	天気図					
	D I	4.2	-37.5	-33.3	-4.2	-25.0



○建設業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和3年4月～6月	天気図					
	D I	6.5	-45.2	-16.1	12.9	-6.5
来季（見通し）比較 令和4年7月～9月	天気図					
	D I	-6.5	-19.4	-16.1	9.7	-19.4

○小売業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和3年4月～6月	天気図					
	D I	0	-37.9	-34.5	17.2	-34.5
来季（見通し）比較 令和4年7月～9月	天気図					
	D I	-6.9	-20.7	-13.8	6.9	-31.0

○サービス業

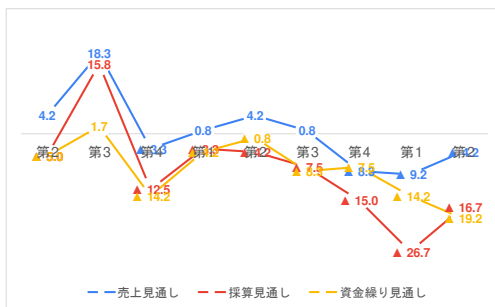
比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和3年4月～6月	天気図					
	D I	19.4	-41.7	-13.9	8.3	-8.3
来季（見通し）比較 令和4年7月～9月	天気図					
	D I	-5.6	-11.1	-8.3	5.6	-5.6

～天気図の指標～

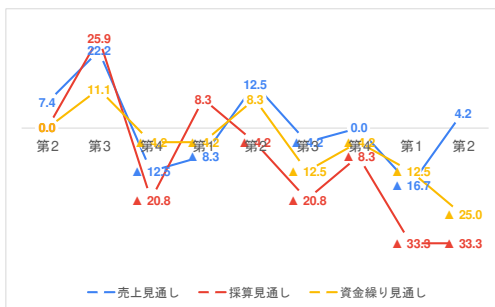
状 況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
D I	30～	10～	0	-10～	-30～

## ～グラフによる今後の見通し～

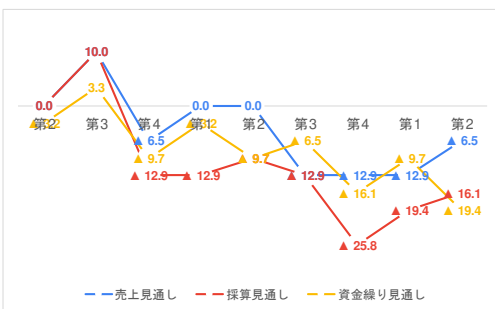
### ◎全体の売上・採算・資金繰り見通し



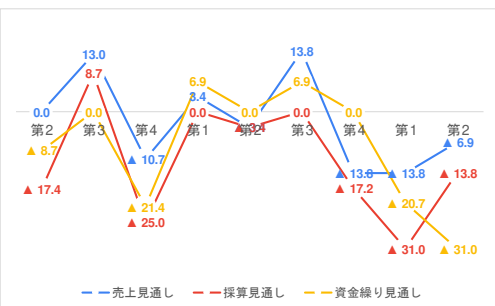
### ◎製造業の売上・採算・資金繰り見通し



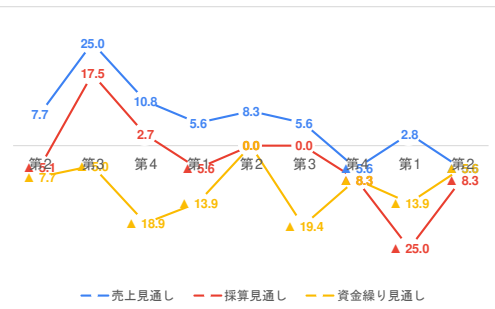
### ◎建設業の売上・採算・資金繰り見通し



### ◎卸・小売業の売上・採算・資金繰り見通し



### ◎サービス業の売上・採算・資金繰り見通し

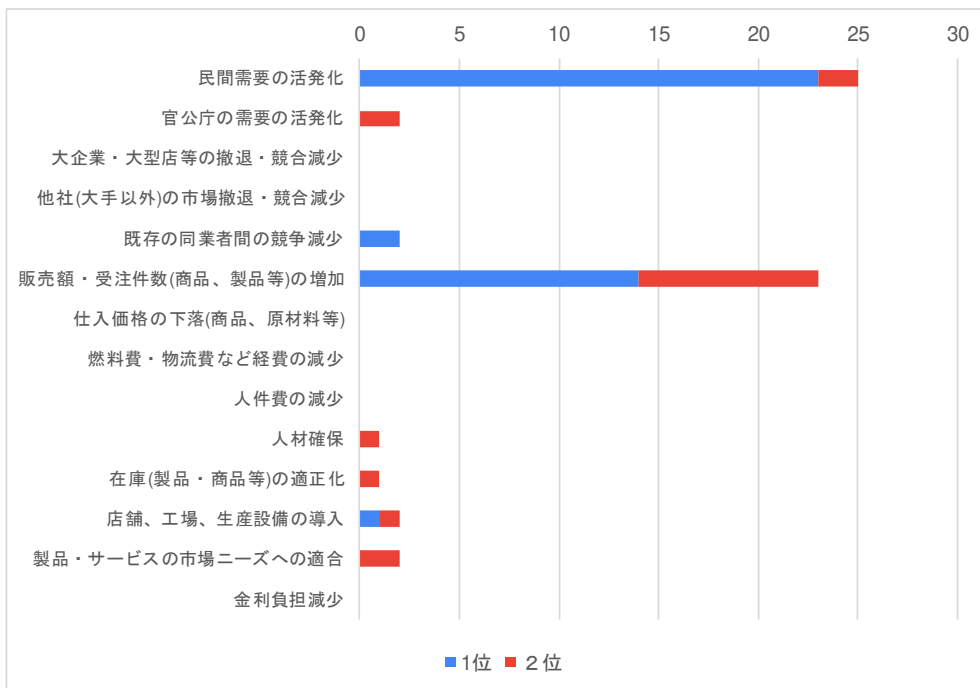


— 売上見通し    — 採算見通し    — 資金繰り見通し

## ○業況変化の要因

～景況が好転・増加した理由～

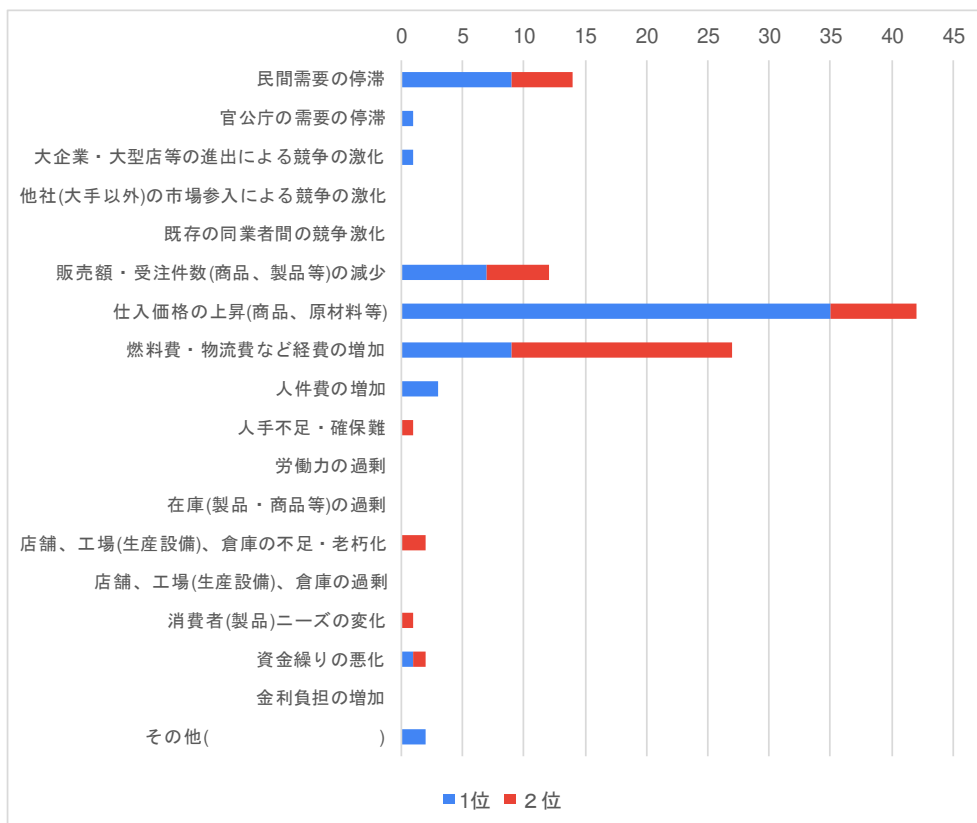
販売や受注が増加したことで業績が好転しています。



～景況が悪化した理由～

仕入れ価格上昇の影響が最上位となっています。

新型コロナウイルスの影響による販売・受注減の影響も続いています。



## その他の具体的な要因

- ・新車・中古車とも入らなくなり、注文はあるが契約できない。
- ・コロナ陽性者の増加と、マスクの影響がある。